

## 嘉手納基地における米軍機の騒音激化に抗議する意見書

嘉手納基地に常駐配備されているF-15戦闘機の段階的退役に伴い、F-22戦闘機及びF-16戦闘機の巡回配備が開始された昨年11月以降、嘉手納基地周辺では米軍機から発生する騒音が激化している。

町の測定調査によると、今年1月の一日平均騒音発生回数は屋良測定局で約58回、嘉手納測定局約54回、兼久測定局約40回、ロータリープラザ測定局約64回に達しており、巡回配備前の昨年10月と比較すると屋良局で約2.5倍、嘉手納局約2倍、兼久局約2.7倍、ロータリープラザ局約2.2倍と町全域で騒音激化していることが明らかになった。

昨年12月1日にF-15戦闘機12機が第一陣帰還したのに対し、F-22戦闘機14機及びF-16戦闘機12機の計26機が巡回配備された。これら戦闘機以外にも、新聞報道等によると今年1月だけでも三沢基地等所属EA-18G戦闘機が計5機、岩国基地等所属F-35戦闘機が計38機、また、原子力空母ロナルド・レーガン艦載機FA-18戦闘機が計8機、さらに横田基地所属CV-22オスプレイ計5機など国内外から多数の外来機が相次いで飛来したことが確認されている。常駐機及び外来機が昼夜問わず断続的に離発着・飛行訓練を繰り返し町全域に激しい騒音をまき散らしており、強い憤りを禁じ得ない。

特に外来機は轟音を立てながら急上昇離陸や急旋回飛行を繰り返し、また、住民居住地上空を飛行するヘリコプターの様子も度々確認されている。米軍の傍若無人な基地運用は受忍限度をはるかに超えており、我慢に我慢を重ねてきた町民の怒りは頂点に達しつつある。

日米両政府においては、平成22年に日米安全保障協議委員会の共同発表で確認された嘉手納基地における負担軽減に基づき、町民が実感できる有効な対策を早急に講じることを改めて強く求めるものである。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、安全及び健康で平穏な生活を守る立場から、嘉手納基地における米軍機の騒音激化に厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要望する。

### 記

- 1 嘉手納基地への外来機の飛来を禁止すること。
- 2 「嘉手納飛行場における航空機騒音規制措置」を遵守すること。
- 3 嘉手納飛行場からの訓練移転期間及び参加規模をより一層拡充すること。
- 4 嘉手納基地における負担軽減（嘉手納における更なる騒音軽減）に基づき、町民が実感できる有効な対策を早急に講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年2月13日  
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官（沖縄基地負担軽減担当）  
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使（沖縄担当） 沖縄防衛局長  
沖縄県知事

## 嘉手納基地における米軍機の騒音激化に抗議する決議

嘉手納基地に常駐配備されているF-15戦闘機の段階的退役に伴い、F-22戦闘機及びF-16戦闘機の巡回配備が開始された昨年11月以降、嘉手納基地周辺では米軍機から発生する騒音が激化している。

町の測定調査によると、今年1月の一日平均騒音発生回数は屋良測定局で約58回、嘉手納測定局約54回、兼久測定局約40回、ロータリープラザ測定局約64回に達しており、巡回配備前の昨年10月と比較すると屋良局で約2.5倍、嘉手納局約2倍、兼久局約2.7倍、ロータリープラザ局約2.2倍と町全域で騒音激化していることが明らかになった。

昨年12月1日にF-15戦闘機12機が第一陣帰還したのに対し、F-22戦闘機14機及びF-16戦闘機12機の計26機が巡回配備された。これら戦闘機以外にも、新聞報道等によると今年1月だけでも三沢基地等所属EA-18G戦闘機が計5機、岩国基地等所属F-35戦闘機が計38機、また、原子力空母ロナルド・レーガン艦載機FA-18戦闘機が計8機、さらに横田基地所属CV-22オスプレイ計5機など国内外から多数の外来機が相次いで飛来したことが確認されている。常駐機及び外来機が昼夜問わず断続的に離発着・飛行訓練を繰り返し町全域に激しい騒音をまき散らしており、強い憤りを禁じ得ない。

特に外来機は轟音を立てながら急上昇離陸や急旋回飛行を繰り返し、また、住民居住地上空を飛行するヘリコプターの様子も度々確認されている。米軍の傍若無人な基地運用は受忍限度をはるかに超えており、我慢に我慢を重ねてきた町民の怒りは頂点に達しつつある。

日米両政府においては、平成22年に日米安全保障協議委員会の共同発表で確認された嘉手納基地における負担軽減に基づき、町民が実感できる有効な対策を早急に講じることを改めて強く求めるものである。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、安全及び健康で平穏な生活を守る立場から、嘉手納基地における米軍機の騒音激化に厳重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実現を図るよう強く要望する。

### 記

- 1 嘉手納基地への外来機の飛来を禁止すること。
- 2 「嘉手納飛行場における航空機騒音規制措置」を遵守すること。
- 3 嘉手納飛行場からの訓練移転期間及び参加規模をより一層拡充すること。
- 4 嘉手納基地における負担軽減（嘉手納における更なる騒音軽減）に基づき、町民が実感できる有効な対策を早急に講じること。

以上、決議する。

令和5年2月13日  
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事  
嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長